

会 議 録

令和2年4月作成

審議会等名	令和元年度 第3回 図書館協議会
公開の別	全部公開
開催日時	令和2年3月27日(木) 午後2時～3時
開催場所	三条市立図書館 2階 視聴覚室
傍聴者の有無	なし
出席者氏名	<p>【協議会委員】 倉品章委員長 長谷川優子副委員長 樋宮委員 関谷委員 山田委員 松原委員</p> <p>【説明のための職員】 恋塚生涯学習課長 岡田生涯学習課生涯学習推進係長 今井 生涯学習課主任 中野生涯学習課一般任用主事</p> <p>【指定管理者】 石原館長 中野業務責任者 村山副責任者 土田副責任者 山口副責任者補佐</p>
協議題	<p>(1) 令和2年度三条市立図書館運営計画 (2) 第3次三条市子ども読書活動推進計画について (3) その他</p>
石原館長	<p>(あいさつ)</p> <p>倉品委員長に進行をお願いしたい。</p>

(令和2年度三条市図書館運営計画)

倉品委員長	「令和2年度三条市立図書館運営計画」についての説明をお願いしたい。
石原館長	(「令和2年度三条市立図書館運営計画」についての説明)
倉品委員長	事前に配布した資料から変更点はあるか。
石原館長	重点目標1ページの(1)について、新たな三条市子ども読書活動推進計画と記載していたが、今後、第3次子ども読書活動推進計画の作成に取りかかるため、正しくは第2次三条市子ども読書活動推進計画である。その部分を修正した。他には(7)職員のスキル向上と図書館サービスの検証を新しく追加した。
関谷委員	マルチメディアデイジーというものはパソコン若しくはタブレットを使用するのか。

石原館長	<p>普段は CDR に焼いたものをパソコンで見てください。1人で読書ができない方も利用できるように、文字を読んでいるところをハイライトし、大きさも変えることができる。また、スピード変更もできる。データが入った CDR データの貸出を4月1日から実施したいと考えている。</p> <p>また、iPad にデータを入れることは可能だが、iPad を図書館が購入する、あるいは、お客さまから iPad をお借りして、そのデータをインストールして差し上げるということは考えていない。iPad にデータを落とし込むには、ソフトが必要だ。マルチメディアデジターを読み込むためのソフトを利用者が自分の iPad に入れていただかなければいけないが、それに約 3,000 円かかるため、それを承知するかなど、調整が難しい。</p>
倉品委員長	<p>iPad の中に、例えば『坊ちゃん』や『吾輩は……』といった小説が入ったものを利用者に貸し出すということか。</p>
石原館長	<p>約 20 作品が入った 1 枚の CDR をお貸しする。Windows のパソコンであれば、文字の大きさ、スピードをパソコンの中で変更できる。今、子どもたちは IT に関して抵抗がない。活字だとなかなか入っていけないが、自ら操作することで、今まで読まなかった子どもたちも取込めるのではないかと考えている。</p>
関谷委員	<p>政府も 1 人に 1 個 iPad と言っている。少しずつそういう面で障がいのある子供を助けることができればよい。</p>
今井生涯学習課主任	<p>補足になるが、文字の大きさを変えられるということで、弱視の方にも十分対応できるものになっている。そういった方にも幅広く、読書に親しんでいただけるものだと感じている。</p>
長谷川副委員長	<p>貸出可能な CDR を使うと、パソコンの中に起動ソフトを入れなくてもよいということか。iPad などのタブレット端末で見ようとすると、起動ソフトが必要だということか。</p>
石原館長	<p>そのとおり。</p>
倉品委員長	<p>新年度の目玉の事業になるわけだが、予算はかかるものか。</p>
石原館長	<p>CDR 自体は 1 枚 5 円や 10 円なので、運営費で賄える。作業は原本のデータを CDR に焼くのみのため、原価のみになる。</p>
倉品委員長	<p>多額になると、一般図書の購入費が削られると危惧していた。</p>
長谷川副委員長	<p>読書会の数は増えているのか。</p>
石原館長	<p>ほぼ横ばいである。</p>
長谷川副委員長	<p>重点目標の(7)だが、今まで記載されたことがない。これは管理事項であり、運営計画なのか疑問に思う。どんな経緯で載せ</p>

	たのか。
石原館長	本来であれば、指定管理の事業計画の中に、職員のスキル向上というものが求められている。運営計画には必要ないという考えもあったが、職員のスキル向上の一つとして三条市の郷土史料などの知識を高めていることを委員の方に知っていただきたく、あえてここに記載した。
長谷川副委員長	「地域の特性を生かした新たな図書館サービスの提供」とは何なのか。後ろに「がんセンターの最新がん情報の提供」と記載されており、これは地域の特性になるのかとってしまう。その辺りをどういうふう考えているのか。事業計画に記載し、こういう場で改めて知っていただくということなら、ありかなという気もするが、少しそぐわないと思っている。

(第3次三条市子ども読書活動推進計画)

倉品委員長	「第3次三条市子ども読書活動推進計画」についての説明をお願いしたい。
今井生涯学習課主任	(「第3次三条市子ども読書活動推進計画」についての説明)
倉品委員長	県は、策定するという方向でいっているのか。
今井生涯学習課主任	そのとおり。県のパブリックコメントが1月中に終わっているので、令和2年度からの計画となる。
長谷川副委員長	第1次、第2次の時も、策定委員会で検討し、作成に至ったと聞いている。今回はどんなスケジュールを考えているのか。
今井生涯学習課主任	従前は、子ども読書活動推進計画の策定委員会があった。その構成委員が、図書館協議会の方々と類似していた。今回は策定委員を設けずに、直接、図書館協議会委員に諮りながら進めていきたい。
長谷川副委員長	策定委員会では、文言まで委員で検討し作成していた。図書館協議会の会議の中で示すということか。
今井生涯学習課主任	そのとおり。
長谷川副委員長	そうすると、少し対応がどうなのかなと思う。できたものについての変更点を考えると、それでもよいと思うが、満足いくものになるのかという心配はある。
倉品委員長	なぜ、前回の策定委員会を踏襲しなかったのか。
今井生涯学習課主任	第1次、第2次と、もう既に2度、策定委員会を母体として作成してきた。今回の第3次は前計画を踏襲していくという前提があると考えている。また、県の計画に沿って策定するという意向もあるので、策定委員会を開くことをせず進めさせてい

	<p>ただきたい。それに当たり、十分時間を取り、事前に資料を配布し、委員から目を通していただき、忌憚のない意見をその時々で頂戴したいと考えている。</p>
倉品委員長	<p>この中で関わっていたのは、長谷川副委員長一人。何回か集まって行う難儀な仕事だったと思う。</p>
長谷川副委員長	<p>1回目は県の計画を見ながら近いものを作った。2回目は三条市独自で色々なことを考えようと、文言、組立て一つひとつを策定委員が全て考えた。2次のパンフレットがあるが、イラストも、図書館スタッフの中でイラストが得意な方に描いてもらった。自分たちで作成したものだから、3次はどうなのかということ聞いてみた。</p>
倉品委員長	<p>会は、何回か集まったのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>作業部会を何度か開いた。幾つかの作業部会を設けて、その作業部会ごとに検討を重ねていただいた。</p>
長谷川副委員長	<p>作業部会では文言を全て検討した。文言の語尾にもこだわった。どういうふうに言ったら伝わるか、若いお母さんにどう伝えるかなどを相談した。自分たちも一生懸命やらなきゃいけない、要するに全体の機運を上げる意図もあった。資料を出していただいて、私たちも時間をかけて見せていただきたい。</p>
山田委員	<p>2次の作業部会で作成したものを基にする。それを県の新しいものに合わせ、若干の修正をするという捉え方でいいのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>そのとおり。第2次と比べると、社会情勢もずいぶん変わった。そういった部分は修正が必要とを感じるが、細かい、今行っていることについては、否定することはないと考えている。デイジーのような新しい分野が今度は出てくるという感触だ。</p>
山田委員	<p>国と県の関係だが、国はもう第4次が出ているのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>そのとおり。</p>
山田委員	<p>新潟県は3次ができてないのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>令和2年度からスタートする。</p>
山田委員	<p>整合性はなくてもいいのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>県は国のものに倣うようにと、なっているが県は少し遅れている。国は5年のスパンで出しているが、県は途中、途切れてしまった経緯がある。</p>
倉品委員長	<p>4月末頃までに、私たちに原案が配布されるのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>計画はまだ作成していない。これまで、今の計画の実績、指標に対する達成度を確認してきた。スケジュールには、既存計</p>

	<p>画の指標が達成されているのか、達成されていないのか。達成されていない場合は何がいけなかったのか、ということを検証する時間を設けている。課題整理、新たな目標の指標設定を行うので、図書館協議会の考えを示していただきたい。原案になった計画として出てくるのが1年半ばになると考えている。</p>
倉品委員長	<p>年3回あるこの図書館協議会において、1年間で検討していくということか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>そのとおり。また、計画期間は5年と考えている。</p>

(その他)

倉品委員長	<p>その他に、協議事項はあるか。</p>
松原委員	<p>2つほどある。1点目は、新図書館の要望事項だ。持出禁止のために、バッグ類を入り口で預かるためのブックシェルフが欲しい。たとえ書架が減ったとしても。袋物を持って中に入るとは非常に危険。BDSが反応するかはわからないが、反応しない場合を考えると、袋物はロッカーに置いて中に入りたい。これは子供も大人もそうだ。そういうのものが、目に見えるアナログ的な効能だと思う。今言ったように、たとえ書架を減らしても、入口に設けて、三条の新図書館は袋物を一切持ち込めないという歴史をつくられたらよいと考えている。最終案の中には是非盛込んでいただけたらと思っている。</p> <p>それからもう1点、盗難・紛失が非常に多く、想像を超える金額である。新図書館のできる機会に、可能なら日本一盗難しにくい、紛失額が少ない図書館でありたい。これは影の目標になるかもしれないが、目指していただきたい。それについて、例えば、今まで過去3年間の盗難・紛失額の総額、あるいは近隣の加茂、見附、長岡辺りと三条との比較、市民一人当たりの紛失額が幾らかというものがほしい。それからBDSを設置した場合に、新しい入館カードが必要なかどうか。その辺のことを、レジュメにまとめた。出席者の方々と情報を共有させていただきたいので、今日いる方にコピーをお渡ししたい。難しい質問はないので、恐らく対応できると思う。</p> <p>それからもう一つ大事なことは、例えば、家庭とか学校で、非常に良い子、優秀な子だと思われる子が、図書館で魔がさして1回本を持ち出してしまった。その持ち出してしまったことを、咎められることがなかったとしたら、その子のその1回が、はたして1回で終わるのか。その子はそれを機会に、図</p>

	<p>書館に行ったら、盗難癖が出るかもしれない。犯罪というのは快感があるらしい。要するに法律を犯すと脳に快感物質が出る。だから永久に犯罪というのは無くならないと言っている脳科学者もいる。</p> <p>新しい図書館ができることは非常に喜ばしいし、誇りであり、財産にもなるが、盗難や紛失を阻止するシステムの実現を目指していただきたい。次回の会議までに、答えをまとめていただきたい。</p>
今井生涯学習課主任	<p>新図書館等複合施設については、図書館協議会委員に進捗等、報告しながら進めていきたい。中でも松原委員が触れた BDS 防犯対策を含めたセキュリティに関しても、意を持って進めていきたい。しかしながら、悪意のある人に対しては、何をもって防ぎようがないというのが現実だ。その部分を含めてご理解をいただきたい。</p>
石原館長	<p>例えば防犯カメラの機能や BDS などの物理的なことで抑制することは非常に重要。新図書館は、悪意のある人に対しては非常に盗難しづらい図書館になることは想像できる。</p> <p>ただ、現実にあと2年間この図書館で運営する。職員の見回り、あるいは重要な書類、資料については、閲覧自由にできないような体制に変えているが、それでも盗難などは実際に発生している。今年度は約400冊紛失している。</p>
松原委員	<p>ジャンルを問わずか。</p>
石原館長	<p>そのとおり。しかし昨年に比べて約300冊減少した。これについては、職員が目配りする、こういったことでやるしかない。配架などをする時にも、不審者がいないか等、意識付けをしている。あるいは、見回りの回数を増やすなど。現状では、そういったことで、盗難・紛失を抑制したいと思っている。</p> <p>ちなみに、蔵書冊数に対しての紛失率は0.11だった。これが全国的に多いかどうかは、紛失率が公共図書館では明示されていないのでわからない。ただ、私が知っている図書館は平均すると0.4%前後、それに比べるとかなり少ない。現場を預かる身としては、市民の財産なので、可能な限り発生しないようにとは思っているが、悪意のある人はいなくなる。松原委員が言ったとおり、盗難できないような状況を施設側が作り出すことがもっと必要だと思っている。</p>
松原委員	<p>もう一つある。昔、ホームセンターはラックが高くて見通し</p>

	<p>できなかった。ある高さにラックを下げたら、万引率が相当減ったという事実を聞いた。新図書館は書架の高さを考えているのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>基本計画では、部屋、図書館のレイアウトを、例えば幼児向けのスペース、あるいはヤングアダルト、図書を愛する人々のスペース、静かな整然としたスペースというように色分けをしている。特に幼児向け書架は段数を低く設定している。これらのスペースごとに書架の高さは異なるが、向こうが見えないという高さまではいかない。</p>
松原委員	<p>最大でどのぐらいになるのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>現在のところ、最大6段程度と考えている。</p>
松原委員	<p>1段25センチとして、150センチくらいか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>その程度を想定している。ただ、開架の数もあるので調整が出てくることから、今後も検討していく。</p>
松原委員	<p>低いものも、相当な抑止力になる。</p>
今井生涯学習課主任	<p>新しい図書館を幾つか見た中で、ほぼ全てが見渡しのよい図書館だった。そういったところは参考にしている。</p>
倉品委員長	<p>この質問事項については、わかる範囲で記入いただき、次回議題の一つにしたい。</p> <p>私から一つお聞きしたい。新型コロナウイルスの問題が非常に混沌としている。現時点では、多人数集まるか、密集化するかどうか、参加人数にもよるが、図書館の中でのおはなし会などは、今までとおおり実施をしてよいのか。状況が変われば、中止になるということもあるのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>現在の市の対策として、市外から来る方がいるならば、例えばマスクの着用といったことをお願いしている。</p>
倉品委員長	<p>東京から来るということはありません。さらに数が増えて、また公共施設関係がクローズというようなことも可能性としてはあるのか。</p>
今井生涯学習課主任	<p>今後の状況によって、どう変わっていくかわからない。現時点において、学習室については、間隔を空けるなど、いろいろ対応はしているが、図書館業務としては、現段階では通常業務ということをお願いしている。</p>
倉品委員長	<p>それでは館長にお返しする。</p>
石原館長	<p>(閉会のあいさつ)</p>